

10月30日(日)

8:30 - 9:40 第1会場(講堂)

一般演題 (下垂体Ⅲ)

座長：大月 道夫 (東京女子医科大学)

蔭山 和則 (弘前大学)

- O-11** ヒト視床下部・下垂体オルガノイドから分離した接着性細胞の下垂体幹細胞性の検討
野々山 葵
藤田医科大学 医・医学研究科 / 藤田医科大学 医・生理学 I
- O-12** GH産生下垂体腺腫における β -カテニンの細胞内局在と臨床所見との関連
桑原 咲
北海道大学 大学院医学院・医学研究院 免疫・代謝内科学教室
- O-13** Gonadotroph adenomaのメチル化パターンの解析と、再発例におけるエピゲノム変化の意義の検討
寺田 英李子
九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学分野
- O-14** ACTH産生下垂体腺腫初代培養におけるグルココルチコイドによるPOMC関連遺伝子発現変化の解析
臼谷 真理
弘前大学医学部 内分泌代謝内科
- O-15** ACTH産生下垂体腺腫初代培養における二つのPOMCプロモーター領域のグルココルチコイドによるメチル化状態の変化
高安 忍
弘前大学医学部 内分泌代謝内科
- O-16** Silent corticotroph adenomaにおけるDDAVP反応性の意義
坂本 竜一
九州大学病院 内分泌代謝・糖尿病内科

9:50 - 10:50 第1会場(講堂)

特別講演

座長：有馬 寛 (名古屋大学)

「視床下部は炭水化物・脂肪代謝をどのように調節しているか？」

箕越 靖彦

自然科学研究機構 生理学研究所 生殖・内分泌系発達機構研究部門 /

総合研究大学院大学生命科学研究科 生理科学専攻

11:00 - 11:45 第1会場(講堂)

教育講演2

座長：小澤 一史 (佛教大学)

「精神・神経疾患の回路と分子の可視化と新しい計測技術」

須原 哲也

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命科学研究所

11:55 - 12:40 第2会場(大教室1・2)

ランチョンセミナー

共催：ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

座長：高橋 裕 (奈良県立医科大学)

「Current perspectives of aGHD ～新たなweekly製剤の知見を中心に」

阿部 一郎

福岡大学筑紫病院 内分泌・糖尿病内科

12:50 - 14:20 第1会場(講堂)

シンポジウム2 「神経内分泌学の学際的研究を目指して」

座長：高柳 友紀 (自治医科大学)

志内 哲也 (徳島大学)

「食後に活性化する視床下部背内側核神経の食欲と感情への作用」

戸田 知得

北海道大学大学院獣医学研究院 生化学教室

「PGO波に着目した睡眠機能の電気生理学的解析」

常松 友美

東北大学大学院 生命科学研究所 / 東北大学 学際科学フロンティア研究所

「同種他個体によるストレスの緩和：社会的緩衝」

清川 泰志

東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医動物行動学研究室

「人工冬眠の実現に向けて ～マウスを用いた冬眠研究～」

砂川 玄志郎

理化学研究所 生命機能科学研究センター 老化分子生物学研究チーム

一般演題 (視床下部・辺縁系・その他)

座長：小川 園子 (筑波大学)

田中 雅樹 (京都府立医大)

O-17 視床下部室傍核CRHニューロンのシングル核RNA-seq解析

菊地 晶裕

生理学研究所 生体機能調節研究領域 生殖・内分泌系発達機構研究部門

O-18 Corticotropin-releasing factor (CRF) ニューロンに共発現するバゾプレシン (AVP) の副腎不全時低ナトリウム血症における意義

村澤 真吾

弘前大学医学部 内分泌代謝内科学講座

O-19 抗ヒトERβ特異的モノクローナル抗体 (PPZ0506) を用いたラット及びマウスERβタンパク質に対する免疫組織化学染色法の確立

服部 裕次郎

日本医科大学大学院医学研究科 解剖学・神経生物学分野

O-20 扁桃体基底外側部に局在するニューロペプチドYニューロンの解剖学および機能解析

山田 俊児

京都府立医科大学大学院医学研究科 生体構造科学

O-21 高感度超多重ISH法から観る内側視索前野のオス性行動における機能

恒岡 洋右

東邦大学医学部 解剖学講座

O-22 AMKが制御する学習記憶関連因子と学習記憶能力に与える影響

岩下 洸

上智大学 理工学部

O-23 プログラニューリン遺伝子欠損マウスの行動特性とその雌雄差

佐越 祥子

筑波大学 行動神経内分泌学研究室

O-24 メラトニンの単回投与による学習記憶機能の増強に関わる海馬と嗅周囲皮質の因子の解析

佐野 真広

上智大学 理工学部

14:30 - 16:00 第1会場(講堂)

シンポジウム3「下垂体腫瘍の最前線：いま私たちはどこにいるのか？」

座長：橋本 貢士 (獨協医科大学)

「下垂体腫瘍患者の薬物管理：病態とエビデンスから選ぶ「今」と「これから」

福岡 秀規

神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科

「下垂体腫瘍の最前線：下垂体腺腫の新しい画像診断と手術戦略」

登坂 雅彦

群馬大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

「下垂体腫瘍の病理のこれから」

井下 尚子

森山記念病院 病理診断科

16:00 - 16:10 第1会場(講堂)

臨床神経内分泌優秀賞発表・若手研究奨励賞(YIA)発表・授賞式

16:10 - 16:15 第1会場(講堂)

閉会の辞